

3. 紀 要 抄 録

瀬戸臨海実験所紀要 (Publications of the Seto Marine Biological Laboratory) は、通常年 1 巻 (1~6 号) を発行しているが、発行期日が必ずしも会計年度と一致していないので、この年報での報告は会計年度と関係なく、最も新しく完結した巻について扱うことにしたい。

第 30 巻は、1~3 号 (合併) が 1985 年 6 月 30 日、4~6 号 (合併) が 1985 年 12 月 25 日に発行された。論文 15 編と生物学データ 2 編を掲載し、総頁数は 338 頁。以下に、その内容を簡単に紹介するが、翻訳の困難さや訳語が不安定な場合があって、一部の学名などで省略したり原文から多少変更した場合があるので、著者にはその点御了解願いたい。なお次回からは、著者に和文要旨の作成を依頼することにしております。

第 30 巻 1 / 3 号 (1985 年 6 月)

論文 1. Hirayama, A. : Taxonomic studies on the shallow water gammaridean Amphipoda of west Kyushu, Japan. IV. Dexaminidae (Guernea), Eophliantidae, Eusiridae, Haustoriidae, Hyaliidae, Ischyroceridae. [平山明. 西九州の浅海産端脚目ヨコエビ類の分類学的研究. IV] 九州西岸から、6 新種・1 新亜種を含む 6 科 15 種のヨコエビ類を記録した。(頁 1~53)

論文 2. Ohwada, T. : Prostomium morphology as a criterion for the identification of nephtyid polychaetes (Annelida : Phyllodocida), with reference to the taxonomic status of *Aglaophamus neotenus*. [大和田嵩. シロガネゴカイ類 (環形動物, サシバゴカイ目) の同定基準としての前口葉の形態, および *Aglaophamus neotenus* の分類上の位置

について] シロガネゴカイ類の分類に前口葉の形態が使えることを示した。*Aglaophamus neotenus* は *Nephtys* 属に移される。(頁 55~60)

論文 3. Hoshino, Z., & T. Nishikawa : Taxonomic studies of *Ciona intestinalis* (L.) and its allies. (星野善一郎・西川輝昭. *Ciona intestinalis* (L.) とその近縁種の分類学的研究) 従来日本でユウレウボヤとされていたものは、*C. intestinalis* と *C. savignyi* の 2 種を混同していたものであることが明らかにされた。(頁 61~79)

論文 4. Fukao, R. : An annotated list of blennioid fishes from Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan. [深尾隆三. 和歌山県白浜産ギンボ類の注釈付目録] 白浜産ギンボ類 32 種の記録と、それらの形態および生態の観察。(頁 81~124)

論文 5. Nishida, S. : Pelagic copepods from Kabira Bay, Ishigaki Island, southwestern Japan, with the description of a new species of the genus *Pseudodiaptomus*. [西田周平. 南西日本, 石垣島, 川平湾の外洋性橈脚類, および *Pseudodiaptomus* 属の 1 新種の記載] 川平湾の浮遊性橈脚類 22 種の記録, および 1 新種を記載し, 主な出現種の分布を論じた。(頁 125~144)

論文 6. Ohtsuka, S. : A note on the feeding habit of a calanoid copepod, *Pontellopsis yamadae* Mori. [大塚攻. カラノイダ目橈脚類の 1 種, *Pontellopsis yamadae* Mori の食性について] 浮遊性橈脚類の 1 種である *Pontellopsis yamadae* は肉食性で, ヤムシを捕食し, また胃内容物の分析から他の橈脚類も餌となっていることが明らかにされた。(頁

145~149)

論文 7. Itô, T. : Affinity between juvenile Tantulocarida thoracopods and postantennular appendages of maxillopodan nauplii (Crustacea). [伊藤立則. タントロカリダ若虫の胸肢とマキシロポダ類のノープリウス幼生(甲殻類)の後小触角付属肢の類似性について] 深海産寄生性甲殻類タントロカリダの胸肢は他の甲殻類の胸肢と全く違う構造を持つと言われていたが, フジツボなどのノープリウス幼生の付属肢と基本的に一致することが明らかにされた. (頁 151~166)

第30巻4/6号(1985年12月)

論文 8. Hirayama, A. : Taxonomic studies of the shallow water gammaridean Amphipoda of west Kyushu, Japan. V. Leucothoidae, Liljeborgiidae, Lysianassidae (*Prachynella*, *Aristias*, *Waldechia*, *Ensayara*, *Lepidepcreum*, *Hippomedon* and *Anonyx*). [平山明. 西九州の浅海産端脚目ヨコエビ類の分類学的研究. V] 九州西岸から, 5新種を含む3科14種のヨコエビ類を記録した. (頁 167~212)

論文 9. Kobayashi, N. : Marine pollution bioassay by sea urchin eggs, an attempt to enhance accuracy, II. [小林直正. ウニ卵を使った海洋汚染の生物学的定量, 精度向上の試み. II] ウニ卵を使って海洋汚染の測定をする際の分析精度向上のために考えられた新しい方法と, 新しい判定基準について論じた. (頁 213~226)

論文10. Saito, Y., & H. Watanabe : Studies on Japanese compound styelid ascidians. IV. Three new species of the genus *Botrylloides* from the vicinity of Shimoda. [斉藤康典・渡辺浩. 日本産

複合スチエラ類の研究, IV. 下田付近から得られた *Botrylloides* 属の3新種] 下田付近で得られたイタボヤ類の3新種を記載した. (頁 227~240)

論文11. Ishimaru, Sh. : A new species of *Leptochelia* (Crustacea, Tanaidacea) from Japan, with a redescription of *L. savignyi* (Krøyer, 1842). [石丸信一. 日本に産する *Leptochelia* (甲殻類, タナイス目) の1新種と, *L. savignyi* (Krøyer, 1842) の再記載] 忍路および白浜で得られた *Leptochelia* 属の1新種の記載, および *Leptochelia savignyi* の再記載を忍路で得られた標本に基いておこなった. (頁 241~267)

論文12. Noda, H. : Description of a new subspecies of *Angursa bispus* Pollock (Heterotardigrada, Halechiniscidae) from Tanabe Bay, Japan. [野田泰一. 田辺湾産 *Angursa bispus* Pollock (異クマムシ目, ハレキニスコ) の1新亜種の記載] 田辺湾島で得られた海産クマムシを, *Angursa bispus* の1新亜種として記載した. (頁 269~276)

論文13. Humes, A. G. : Poecilostomatoid copepods parasitic in the scleractinian coral genus *Goniastrea* in the Moluccas. [A. G. Humes. モルッカ諸島の *Goniastrea* 属のイシサンゴ類に寄生する Poecilostomatoida 類の橈脚類] Poecilostomatoida 類の2種がモルッカ諸島のイシサンゴ類に寄生しているのが発見され, 新種として記載された. (頁 277~286)

論文14. Ohtsuka, S. : Calanoid copepods collected from the near-bottom in Tanabe Bay on the Pacific coast of the middle Honshu, Japan. II. Arietellide (cont.). [大塚攻. 中部本州太平洋岸, 田辺湾の近底層に産するカラノイダ目橈

生物学データ1. Ohgaki, Sh., N. Abe, T.

(紀要編集委員会)

